

日時 : 令和3年11月5日(金) 14:30～  
場所 : 第一応接室

## 第1回アルプス公園自然活用検討委員会 議事録

### 【市長挨拶】

アルプス公園は昭和49年に開園をした。松本城公園に並ぶ、松本市を代表する都市公園である。開園時は施設型の公園として賑わいがあり、有賀市長の代、平成19年には北側拡張部エリアが出来今に至る。北側拡張する際には管理運営検討委員会が開かれ、市民が参加するという形で行った。

菅谷市長に代わり、その頃には北側拡張部についても指定管理者の元管理運営が行われている。アルプス公園について私は市民の憩いの場、市民に愛される公園であり、市内外から訪れる人にも松本市の良さを堪能していただける、また、高齢者や家族連れにも楽しんでいただける公園だと認識している。

そうした中で開園部については昨年度から旧まきば山荘跡地の整備を進める必要があると考えており、キャンプ場を検討している。議会の了承を得るまでには至っていないので、改めて市内で必要性について検討しているところだ。

拡張部について、必ずしも市民に利活用されていないのではないかと、もっと豊かな自然を市内外の皆さんに利活用してもらえないかと、ご意見もいただきました。それにつきまして、改めて当時の経過を振り返りながら、また今の課題は何なのか、この先どのように利活用していくのか、そうしたことを今回の委員会で検討していただきたいと思う。

ようやく新型コロナウイルスも落ち着き始め、もう一度松本の賑わい、市民の憩いをコロナ前に戻すのではなくて、更に充実していきたいと考えたときに、より自然環境に接点をもつ暮らしであるとか、レジャーであるとか、アウトドアであるとかそうした観点から、北側拡張部の整備・活用についてぜひ幅広い世代の方たちからご意見・ご提言をいただきたい。整備・活用運営についてできれば今年度中にご提案をいただいて、来年度以降具体的な活動に繋げていきたい。

### 【アルプス公園北側拡張部の現状と課題】

【平成19年度 アルプス公園管理運営検討委員会について】 説明者：公園緑地課

(質問者：高山) 北側拡張部の利用実数が分かれば知りたい。

(回答者：事務局) 実数はない。今年度約1,000人にアンケートを行った結果では利用したことがないと回答したのは79%なので活用してないと言える。

利用者数などの具体的な数字はない。

**【北側拡張部の利活用目的の活動とその課題】** 説明者：指定管理者 TOY BOX

(質問者：内田) 各事業（特に石窯）の年間利用者について。

(回答者：TOY BOX) 石窯の利用は昨年だと3回。コロナ前は不明。

(質問者：内田) サツマイモ等の栽培管理が大変でないか。基本的管理はTOYBOXのみで行っているのか。

(回答者：TOY BOX) サツマイモはそこまで手がかからない。TOYBOXのみで行っている。

ヤマユリは年間で4～11月は一般の方とも行っている。月2～3回、1回あたり5～6人にて行っている。場所を分けながら何年も行っている。

(質問者：高山) ヤマユリは自生しているものを繁殖させているのか。

(回答者：TOY BOX) 自生ではない。

**【現状施設と課題について】** 説明者：公園緑地課

(質問者：市川) 森の入り口休憩所付近にある池に水を溜めないのはなぜか。沢の水は増えたりしないのか

(回答者：TOY BOX) 以前は水があった。水があると悪臭がするため水を止めている。へドロを撤去するためにも止めている。

井戸水をくみ上げて補充している。

(質問者：内田) 森の入り口休憩所と自然観察の森の開園時と今の写真を比べると樹が生い茂っていたり、本来石畳がある所にも雑草が生えていたりしているが、自然に見せるためにやっているのか、管理が行き届いていないためか

(回答者：事務局) 里山を目指して行っていたが、その活動が出来ていない。指定管理者のTOY BOXとしてもなかなか手が行き届かないため。

(質問者：丸山) 現状については理解した。今後はどうするのか。

(回答者：事務局) 施設等も含め委員会にて案を考えたいと思う。

(質問者：高山) 今回の会議の意向は理解したが、委員に選ばれた8人の意見がアルプス公園の今後についての総意になってしまはないか。

また、途中の過程でもいいから多くの人の意見を取り入れたい。

(回答者：事務局) 最終的な提言が『多くの人の意見を取り入れる』になっても構わない。1つの提言を挙げるだけでなく様々な意見があってもいい。

(質問者：村上) 5年ほど前に森の入り口広場の裏が全国植樹祭の会場になったが、そのままの状態になっている。そこも提言に加えられるのか

(回答者：事務局) この場所のみという指定はないので提言に加えても構わない。

(質問者：小川原) アンケートの状況を見て利用者が少ないのが分かるが、市として原因を追求したのか。アクセスに問題があるという説明が先ほどあったが他にもないのか。

(回答者：事務局) 実際に歩いてみてもアップダウンが厳しく、そこに向かう目的がなかなかない。19年当時(開園時)は野鳥などを見るためという目的はあった。今はそういう目的がない。14年前に完全に戻すのではなく、委員会を通して利用してもらおう計画を考えたい。

(質問者：土田) 説明にあった行事等の呼びかけはTOY BOXのホームページなのか、あるいは市の広報なのか

(回答者：TOY BOX) 団体がらみは(団体に)直接声をかけている。そば打ち体験はブログに掲載し、近隣の保育園、小学校にチラシを配布している。石窯はホームページにて掲載。SNSでの呼びかけはできていない。自然観察会は公園内にチラシを設置と、一緒にやる方たちに呼びかけをお願いしている。

(質問者：土田) アルプス公園内には利用区域と緑地保全区域というものがあるが、市とTOY BOXはどのように運営をしてきたか。

(回答者：事務局) ニセアカシアやマツ等の伐採は計画的に行っている。当初の里山再生計画の中にある伐採は、ボランティアの集まりで行うというのがある。一概に税金を使って行うことが難しい。色々な木があるのは自然ではなくて里山のように整備された形を目標としたい。

## 【意見交換】

(意見者：丸山) 北側エリアの駐車場が非常に狭い。隣エリアを使って駐車場を広げたほうが良いと思う。そのほうが集客できると思う。

東、南エリアからだとも1~2キロほどあるのでぜひ提案したい。

(回答者：事務局) 資料には30台と記載があるが実際そこまで停められない。一つの提案としてあげたいと思う。

(意見者：高山) 北側エリアで危険生物(熊や猪、蜂など)が頻繁に出るなど、実際に危険な目に遭った方が過去にいたか情報があれば知りたい。鹿はいるか。

(回答者：TOY BOX) 昨年古民家にて猪の目撃情報があった。蜂の巣はいくつかある。(山の中等) 熊はいない。鹿は何度か目撃情報がある。マムシが森の入り口広場で見たという情報もあった。

(提案者：村上) ①TOY BOXの活動にもう少し市民の方(ボランティアの方)に加わってもらえるのはどうか。市民の方と一緒にイベントを組めたらいいと思う。サツマイモの収穫についても小学生や保育園生などで行ってもいいと思う。

②森の里広場付近にアレチウリが発生しているがその対処もしたほうが良いと思う。

③石窯がせっかくあるのだからその周辺の整備を行うといい。

(意見者：市川) 市民の方がイベントを行う際はどこに申請をすればいいのか。使用する際の事例は何かあるか。公園を利用するにあたって広報とかはしていないのか。

(回答者：事務局) 古民家等を使用する際はTOY BOXにも申請が必要になり、公園使用などになると公園緑地課にて申請をするようになっている。

昨年は古民家の利用で演劇の練習を行っている。

公園を利用するのにも、占用するのにも料金が発生する。※場合によっては減免商売などお金のやり取りがあるイベントは行えない。しかし、りんご音楽祭は市の後援があるので使えている。

(提案者：内田) 県外者にアルプス公園を紹介するのにSNSなどがあれば魅力を伝えやすいのではないかと。市民は知っていても、古民家があることや無料の動物園があることを知ってもらうにはSNSを通してきっかけをつくるのはどうか。

(意見者：高山) 開園当時のゾーニング図があれば見たい。

(回答者：事務局) 次回用意します。

(意見者：丸山) 水辺のエリアは老根田から水を引いているのか。

(回答者：事務局) 老根田からきている。

(意見者：丸山) アンケートの中で開放的ではないとあるが、木の伐採は行うのか。予算がないのは分かるが TOY BOX のみならず行うべき。

(回答者：事務局) 景観のいい公園を作りたいので伐採は行っていく。

広いのでなかなか進まない。

(意見者：小川原) 幼稚園、小学校など学校教育のなかで公園利用はされているか。拡張部の方は「学ぶ」というエリアとして分けたいのではないのか。

(回答者：事務局) アルプス公園に遠足は来るが、拡張部の方までは来ない。来てくれるような案を考えていきたい。

(提案者：丸山) アルプス公園に目玉がないと話があったがオオムラサキという蝶がいるので、キャッチフレーズに入れるのはどうか。

(提案者：高山) ①蝶などを集めるのにも在来の植物を増やすのはどうか。

②池の悪臭について、昔からの伝統管理方法で秋ごろ水を抜いて池干しをすると翌年も大丈夫というものがある。管理も楽になるのではないか。